

# 更新研修規程

## 基礎水泳指導員・公認水泳コーチ 1

## 公認水泳コーチ 2・マスター称号認定者

公益財団法人 日本水泳連盟

### 第 1 条（目的）

本規定で定める研修会は、公益財団法人日本スポーツ協会公認水泳コーチ 1・水泳コーチ 2 規則第 21 条及び公益財団法人日本水泳連盟（以下「本連盟」という。）基礎水泳指導員規則第 18 条に基づき開催されるものである。

指導員は、常に深い教養と高い品性の陶冶と、国民の生涯スポーツとしての水泳の普及と発展に努め、水の事故防止に寄与することが求められる。更に、指導員として、その地位の向上に意を用いなければならない。

これらを目的として研修を義務づける。

### 第 2 条（研修の開催）

本連盟（地域指導者委員会）・加盟団体は、毎年 1 回以上、別表に定める内容の研修会を開催し、主管する。

### 第 3 条（研修会の名称と対象）

- 1 研修会の名称は、基礎水泳指導員・公認水泳コーチ 1・公認水泳コーチ 2 研修会、及びマスター称号認定者研修会とする。
  - ① 基礎水泳指導員研修会・水泳コーチ 1 研修会……基礎水泳指導員及び水泳コーチ 1 を対象とした研修会
  - ② 水泳コーチ 2 研修会……水泳コーチ 2 を対象とした研修会
  - ③ マスター称号認定者研修会……マスター称号認定者を対象とした研修会
- 2 基礎水泳指導員・水泳コーチ 1・水泳コーチ 2・マスター称号認定者は、居住地の加盟団体あるいは各地区が主管する研修会に参加すること。

### 第 4 条（研修への参加義務）

- 1 次回更新登録には、他の資格の有無に関わらず、資格の有効期限内（4 年間）に 1 回以上の研修への参加を義務づける。ただし、公認水泳教師資格と併せ持つ場合は当該資格の更新研修を受講することによって更新できる。
- 2 4 月 1 日現在満 65 歳以上に達した有資格者は、研修の一部を免除することが出来る。ただし、登録後満 5 年未満の者は除く。
- 3 上位の資格を取得する場合は、研修を免除することができる。ただし、現有資格の有効期限が上位資格取得時に至るまでに到来する場合は研修を修了させなくてはならない。

### 第 5 条（研修への参加義務の特例）

研修参加への義務の特例については、別に定める。

## 第6条（参加の費用）

開催の都度発表する（近年、施設の使用料等が高騰していることと、施設により差が大きいので、主管団体により異なることがある。）。

## 第7条（更新研修報告義務）

加盟団体は更新研修会終了後一か月以内に本連盟に報告書を提出すること。

### ①基礎水泳指導員

(1) 研修報告書

(2) 参加者名簿

### ②水泳コーチ1・水泳コーチ2

(1) 研修報告書

(2) 参加者名簿

## 附則

### 第1条（施行）

この規則は、平成17年4月1日 施行

平成24年4月1日 改定

平成31年4月1日 改定

## 研修内容と研修時間

**表. 更新研修内容と研修時間**

|        | 内容   | 配当時間       |
|--------|--|------------|
| 学<br>科 | 水泳界に関すること<br>指導者に関すること<br>水泳の安全に関すること<br>水泳の科学に関すること<br>実践報告と研究協議<br>その他 | 1.0～3.0 時間 |
| 実<br>技 | 指導法<br>各種泳法<br>水泳の安全に関すること   | 1.0～3.0 時間 |
| 合<br>計 |  | 4.0 時間以上   |

### 留意事項

各研修内容の組み合わせにより規定の時間数以上を行う。時間の軽減は不可とする。

テキスト：水泳指導教本（大修館書店）